

鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事における屋根、はり、もや、けた、合掌を起因物とする死傷
災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労 働 者 規 模
1	8～9	屋根での積もった雪を竹箒で雪を落とす作業中、場所を移動するため安全帯を外したとき、一緒に作業をしていた同僚が足を滑らせ滑落しそうになったため、助けようと手を貸したところ、屋根の勾配で滑り、約4.3m下の圧雪状態の地面に同僚と一緒に背部から落下して負傷した	40	—
1	12～ 13	浴場改修工事の内部足場解体中に化粧梁に足をかけ、安全帯を入れ替えしようとしたところ、化粧梁の仕口が外れ落下した。	24	1 ～ 9
1	16～ 17	養鶏場の鶏舎新築工事現場において、鶏舎の屋根の梁上に仮置きしていた角材（鋼製100×100）を移動させようと、高所作業車を運転し、屋根の梁の上にあがったところ、仮置き角材に足を掛けたため、角材が横すべり、バランスを崩して転落し、約6.4m下のコンクリート床に激突し負傷した。なお、保護帽・ハーネス式安全帯を着用していたが、安全帯は使用しておらず、安全帯取付箇所・防網等は設けていない。	22	—
1	9～ 10	スレート材の屋根上で、足場解体作業中に材料を運んでいる時に、2ヶ所ある搬入ルートのうちまだ道板養生が出来ていない方を歩き、屋根が抜けて7m下まで落下した。	20	1 ～ 9
2	11～12	当事業所鉄鋼作業所外屋の屋根の雪下ろしの作業に従事していた。スコップを使って、雪を下に落としていた時に、足が滑り、高さ2.5m位の屋根から雪と一緒に落下したものである。	50	1 ～ 9

2	10~11	本人は同僚4名と4F小梁の鉄骨取り付け作業に従事していた。先付側でボルト入れに従事していた本人は、仮ボルトにナットを入れずに後付側（無線合図者側）に取付完了の合図をした。後付側の同僚は、仮ボルト入れが完了したので、玉掛けはずしの合図をクレーンOPに伝え、玉掛けワイヤーを緩めた。その際、先付側の小梁がずれ落ち、ALC取り付け金物（C-100、L=350）と小梁に左手を挟み被災した。	26	10 ~ 29
2	8~9	新築工事において、2F庇の雨樋蓋を取り付けるため、2Fバルコニーから庇上に降りた際、腰袋が、壁に当たり、バランスをくずし、2Fから1Fへ飛び降りた際負傷した。	57	—
2	17~18	工事現場で屋根を剥がす作業を終了し、下に降りようと梁のある部分をつたって移動中、木毛板と梁の間にスレート固定用の横梁の隙間があり、足を乗せた木毛板が割れ沈み込む形になったためバランスを崩し横に転倒した。ぶつかった勢いで木毛板が割れ木毛板とともにそのまま落下し、約5m下のコンテナに1度ぶつかりさらに2m程下の地面に落ち負傷した。救急車で病院に運ばれたが同日死亡した。ヘルメットは着用していた。安全帯は使用していたが、被災時は降下の移動中のため使用していなかった。	77	1 ~ 9
3	10~11	3番線旧売店他撤去工事現場において、被災者が3番線ホーム倉庫屋根を外す作業中、スレート屋根を上部より外し、屋根材を持ち鉄骨下地を歩き、開口部付近へ運ぼうとした際、鉄骨下地部分より足を踏み外し、鉄骨下地のないスレート屋根に足をのせたところ、屋根が抜け約3m下の通路へ落下し、左肩を強打し骨折した。	33	1 ~ 9
3	13~14	現場にて家屋解体の瓦降ろしをしていた際、場所を移動するため安全帯を付け替えていたところ、屋根板が抜け落下し、右肘と右腿を負傷した。	40	10 ~ 29
4	9~10	工事のため足場組立作業中、屋上の天窓を天窓とわからず強度を確認しないで歩いてしまい、天窓が割れたため転落した。	25	1 ~ 9
4	14~	鉄骨の梁上でガス溶断を行う為に移動中、降り積もった鉄粉で足が滑り床に墜落し	47	1 ~

	15	た。（鑄造所である為に梁の上に鉄粉が積もっていた。）		9
4	11～ 12	車庫解体工事でスレート瓦を撤去しようとハシゴを登りスレートの上に上がりスレート剥がそうとした時に、はりの木が腐っており、スレートごと踏み抜いて背中から、転落した。なお、安全帯は使用しておらず、高さは2.5mであった。	46	1～ 9
4	14～ 15	倉庫の屋根補修作業中に、被災者はプラスチック製の明かり取りの上を歩行し、明かり取りを踏み抜いて高さ5メートル程度の高さから倉庫内床面へ墜落した。	39	1～ 9
6	11～ 12	アンテナを取り外していたところ、スレート屋根を踏み抜き、6.2m下のコンクリート床に墜落した。	75	1～ 9
7	8～9	資材センターにおいて、資材倉庫の屋根のスレートが壊れてしまった部分を補修するにあたり、補修工事前の写真を撮るため屋根に上がった際、誤って下地の無い部分を踏み抜いてしまい、5.4m下のコンクリート土間に落下し、腰部を強打した。	45	50～ 99
7	10～11	工場内材料置場のスレート屋根雨漏り修繕工事の作業。工事場所への通路は鉄板屋根の上を歩き、内樋の金物を掴み小波鉄板へ上る経路であった。作業については内樋の中での作業完了、午前休憩（約30分）後に先に被災者が現場に向かう途中に、スレート屋根から転落した（ノーヘルメット）転落場所へはスレート屋根伝いでないと不可能である。	44	1～ 9
7	9～10	作業現場にて地上高さ5mのスレート屋根上の作業用通路で、切断したフックボルトの清掃作業中、誤ってスレート屋根を踏み、屋根が抜けて、3m下の作業用器具の上に落下し、そのはずみで更に2m下のコンクリート地面に転落して負傷した。	73	1～ 9
7	13～ 14	大学研究管理棟4号棟の西面外部1階フロア部において、養生作業の事前確認のため、トップライト部を見回っていた。足場最下部にてトップライト周りを歩行中、作業床の確認のためトップライトの上に乗ったところ、トップライトが割れ、下のガラスも割れて下1階フロアまで墜落した（高さ約5m）。	24	30～ 49
7	2～3	倉庫の屋根の作業していたところ、屋根のストレージが割れて落下し、右腕・右脇	46	1～

		腹を打ちつけ受傷した（骨折）。		9
7	15～ 16	地中梁立ち上がり部に鉄筋キャップを取付作業中、不用な部材を見つけ、取り除こうとして梁上部を横移動し、バランスを崩して背後へ落下した。下部脚立を移動せず作業足場が悪い状態で作業していた。	54	～ 99
7	11～ 12	新築アパート（2階建て4世帯分）の屋根の建て方作業中、母屋・小屋束の木材を配布していた際、足場が不安定な箇所（建て方作業途中の仮置きしている角材部分）に足をのせたため、約3mの高さからアパート2階床に転落し、前胸部・左関節部を打撲し、かつ左足関節を捻挫し負傷した。	24	～ 29
9	16～ 17	アルバイトなので二階には上がらないよう指導していたが、まわりの気付かないうちに二階に上がり木材を運んでいた。そしてバックして、転落した。	70	～ 9
10	15～ 16	被災者は、3階にて同僚とファブデッキの仮敷き作業に従事していた。休憩を取るため、被災者が他の同僚よりも先に休憩所に向かった。小梁を渡っているところまでは、同僚2名は目撃していた。2名が目を離していた時に「アッ」という声を聞き、同僚2名で確認に行ったところ、被災者は1階の地面に倒れていた。（墜落時の現認者はいない。）	34	～ 29
10	11～ 12	既存屋根（スレート小波）上で準備作業安全ネットを貼りに屋根上に登って移動したときに、スレート屋根を踏み抜き墜落した。	29	～ 9
10	1～2	2階改築工事の現場にて資材（銅線）搬入時、内部の塗装工事をしていたため、1階の玄関屋根から2階部屋の窓へ資材を搬入した。1階玄関屋根にビニールが敷かれていたため、足を滑らせその際、ジャンプして着地しようとしたが左足に体重がかかり踵を負傷した。	47	～ 9
11	16～ 17	工場改築工事現場において、屋根タイトフレーム作業終了後、足場板を撤去中バランスを崩して梁から転落し頭部を強打する。	45	～ 9
		かやぶき屋根のかぶせのトタンの鼻先を取り替える為に、下屋の瓦屋根の上で作業		1

11	9~ 10	をしていて、滑らない様瓦の上に2m角位のシートを貼ったが、そのシートの上に乗った時、滑って地面に落ちた。右足の太ももの所の骨を骨折した。	66	~ 9
11	14~ 15	屋根瓦棧を撤去作業中に移動しようとした時、足を滑らせ足場鋼管の手摺り部分に額が当たり、約3m下の畑に落下負傷した。	61	1 ~ 9
11	13~ 14	牛舎の鉄鋼建築で屋根張り作業中、上段から下段まで雨が降って濡れていたため滑りバランスを崩して（2m位）そこから地面（2m位）の所まで落下し、地面も滑り易くなっていたため足の踵をつきそのまま滑り、右足の踵付近を損傷し立位保持が困難となった。	33	1 ~ 9
12	15~16	鉄骨造2階建ての工場建設工事現場で、鉄骨鳶が鉄骨建方中、水平ネットを手繰り寄せている作業中、2階鉄骨梁上から転落し、頸椎・胸椎を打ち骨折した。	34	10 ~ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html